

http://www.minamih.net/



13・2・2(土)
南NEWS NO64

(あと2ヶ月足らずで6年生は卒業)と想ったとき以下の言葉が浮かびました。

「古いもの前に立つと、歴史が、過去が、そして消え失せたはずの時間が、すべてのものが、一瞬のうちに目の前へ立ち現れてきます。そのことによって、だれもが、自分が現代に孤立して生きているわけではないという真理を直感するんですね。そして自分が過去と未来をつなぐ役目を背負っているという責任を自覚します。大事なことは、こういったことがすべて人間を勇気づけるということです」

(「ボローニャ紀行」井上ひさし著 文春文庫より)

イタリアのボローニャを訪れた井上ひさしさんにイタリア女性図書館の館長さんが語った言葉です。

36期生の皆さんは35年の南の歴史に、市民体育祭優勝(少女)、12ブロック予選ベスト4・葉山JGKカップ優勝等の新しいページを付け加えてくれました。

あと2ヶ月楽しんで、漢字ノートもしっかり仕上げ、さらに輝くページを付け加えて、次につなげてくださいね。 b y 南のアンパンマン

第28回 むさしの招待 5年 2013年1月5日、6日: 府中少年サッカー場

■めあて

- ①渡り廊下を使う ②DF裏を狙う ③コーチング&返事を返す ④つるべの動き
- ⑤同一視 ⑥ボールを取られたら取り返す

■結果

○初日: 1次トーナメント

対プリメイロス 1-1 得点: 山本君 対 大宮三橋 0-2 対 大久保 0-5

○2日目: 2次順位決定戦 3位パート

対大和北 2-4 得点: 山本君、五島君 対 昭和 2-5 得点: 山本君(2)

結果は、強豪チーム相手に4敗1分けと残念な結果でした。

攻撃は足下へのパスが多く、相手にパスコースを読まれてしまい、簡単にボールを奪われるケースが多かった。もっとスペースを使った連動性のある攻撃、特にワンツーを多く使いたい。

その中でも、山本君の華麗なFKや、五島君の右サイドからの豪快なドリブル突破からのシュートは見事でした。

守備では、相手に裏を取られない「同一視」の徹底、ゴール前でシュートを打たせない「第一DF」のすばやいシュートブロックができれば、2、3点は失点を減らせたはず。

初日の反省を活かし、2日目は徹底して、ボールを取られたら取り返す、試合を通して走りきる!ことをめあてにやり抜きました。

試合後は、皆息も絶え絶えでベンチに帰ってきて、走り切った姿が見えました。

今後につなげるためにも、その気持ち、闘志を忘れないでほしい。

全力で走り切るサッカーを目指そう!!

b y 中野コーチ

ドリブルの力ではどのチームにも負けないものがありました。点を取られても取り返す力もあります。相手に背中を見せてしまうタックル等の悪い癖をなくすことができれば守備力はもっと上がります。

自分達のめざすサッカーの創造に向けてGAMBAっていけばかなりの可能性があります。学校の普段の生活からしっかり取り組むことが君達を強くします。

b y 南のアンパンマン



きさらぎ杯 E ブロック 予選(5年生以下少女)

(1/6 愛宕小)

○南八王子 対 AS 稲城 1-0 (前半0-0)

テーマ ボールキープ(奪われない)、ゴールを狙う

得点者 井上さん

5年生以下での初めての試合となりましたが、霜解けの多少荒れたピッチでドリブルやコントロールミスが多く最後まで攻撃のリズムを作れませんでした。相手のプレスが速いというのもペースをつかめない原因ですが、判断の遅さが気になりました。オフ・ザ・ボール(ボールがない時)に、どれだけ周りを見ていられるかが、攻撃のスピードを決めます。

ドリブルなのか、パスなのか、キープなのかを状況を観て自分で決められる選手になってほしいと思います。この試合では井上さんの個人技でのドリブル突破から得た得点でなんとか勝利できましたが、もっと一人ひとりがシュートを意識してほしいですね。(飛田コーチ)

○南八王子 対 愛宕 8-0 (前半2-0)

テーマ 視野の確保(自分で見て判断)、コミュニケーション(パス)

得点者 小沢Mさん(2)、片寄Mさん(2)、伊藤Kさん、

村田さん、漆間さん、山宮さん

たくさんの得点が入りましたが、ただ厳しいことを言えば、もっともっと周りを観てプレーしてほしいと思います。周りを見ることができるようになると、プレーの幅が広がります。今は強引なドリブル突破が目立ちますが、周りが見られるようになると、パスを選んだ方が良い時があることが自分で分かるようになります。次のプレーが読めるようになりますから、攻守の切り替えが早くなりますし、パスを要求したりする声も出さるようになります。

この試合でももっと得点が取れたと思います。4、5年生で臨んでいるこの大会ですが、そろそろボールウォッチャーから卒業してほしいですね。(飛田コーチ)

(1/19 浅川G)

○南八王子 対 樺 1-0 (前半0-0)

テーマ 1対1で負けない

得点者 井上さん

予選リーグ最後の試合でした。めあては「1対1で負けない。」としました。スコア的には僅差ですが、内容は南八ペースでポゼッションも良かったと思います。前後半シュートチャンスはありましたが、シュートがキーパー正面だったり、また中盤のハーフから必殺のスルーパスが何度も出ましたが、そのボールへの反応が遅かったり、ファーストラップが悪かったり、あわてて空振りしたりと決めきれない場面がいっぱいありました。

ディフェンスは小沢さんを中心に井上さん矢久保さんが声を掛け合いながら、ドリブルで攻撃参加したり、逆サイドへボールを展開したり、鋭い縦パスを出したりと考えたプレイをしていました。試合中特に目立っていたのは、中盤の村田さんでした。攻撃・ディフェンスと必ずボールにからみベンチで見ていると、ゲームをコントロールしていることがはっきりわかりました。

得点は、後半ハーフにポジションを上げた井上さんが中央で相手ボールをカットし、そのままドリブルで持ち込みシュート。これが決勝点となりました。まだまだ、ゴール前の攻防で絶対私が決めてやるという気迫が感じられません。試合中シュートチャンスはなかなかそんなにめぐっては来ません。だからなおさら私が決めるという気持ちでシュートをしてほしいと思います。(斉藤コーチ)

